

にほんばし

人形町

Vol.

108

Summer

夏号

Ningyocho 2008

- 特集 人形町と落語
- CLOSE-UP 「土用の丑の日」とは
- いろはかるた 夏の巻



昭和54年
文部大臣より「芸術祭優秀賞」を受章



「その興行で、『有望そうな落語家を集めて、人形町で落語の会をやってみないか』と持ちかけたんです。私の頭では、人形町ならできると。見番ならできると。『と確信があった。あそこなら、舞台も、太鼓も、畳もある。しかも末廣のイメージがあるから、やるなら下足番から緋毛氈まですべ



見番で行われた当時の寄席

見番での寄席は、出演料からゲストの交渉、受付、下足まですべて商店街協同組合の手で行われた。初めは年3回、それが3ヶ月に1回、次に2ヶ月に1回、最後には毎月。その間、その功績が評価され、昭和54年文部大臣より「芸術祭優秀賞」を受章となる。

見番での寄席も8年続いた。その後は、平成4年より東京穀物取引所で2ヶ月に1回寄席が開催されている。

末廣から手作り寄席を

その後、喜扇亭は昭和28年に、末廣は昭和45年に幕引となり、人形町から寄席が消えていった。「『末廣がなくなつて、つまらないなあ』と思っていたある時、たまたま飲みに行った先で、落語家の人形町の話をしているのを聞いたんです。それで意気投合！その時たまたま、商店街の『大売出し』の景品で温泉旅行ご招待があり、その落語家さんに余興として、一緒に行つてくれないかと交渉したんです」

人形町通り交差点近くにある「人形町末廣跡」



重盛理事長が人形町の寄席に通っていたのは、小学生の頃だった。「喜扇亭は確か、今の今半あたりかな、と思いますよ。ここは色物といい、女義太夫とか、お芝居とかをやっていた。末廣は寄席でよく一人で行っていましたね。ここはね、下足札出して、上がり間口から入ると、畳で、その真中を通り道があったんです。しかもあれやキャラメルを売る娘さんまでいて……。おもしろいのは、トイレは楽屋からも客席からも入れるようになっていてね、落語家さんと一緒になるってことも度々。当時9歳ぐらいたった私がある時、トイレに入ったら、鼻歌唄った柳朝さん(当時は二つ目ぐらい、20歳ぐらい)が横に来たっと思いがああるよ」

子供もハマる、落語のおもしろ

明治から昭和にかけて、人形町界限には10軒ほどの寄席があった。そして戦後まで残った寄席は、喜扇亭と末廣の2軒だった。落語ブーム到来の今、人形町と寄席の関係、歴史についてを、現在の人形町商店街協同組合の重盛理事長に聞いてみた。

寄席がよく似合う街、人形町

当時の末廣の出演者は、今では層々たるメンバーだ。しかし当時の彼らは前座を経て、二つ目上がった20歳ぐらいの若手である。「有名な談志、圓藏、金馬さんなど。特に楽しかったのは今輔さんの『お婆さん落語』。この人のお婆さんのなり方、変わり身が何となく言えずにいい！ それに金馬さんのガラガラ声も……。小学生の私は落語の漸が分からなくとも、そのおもしろさに惹かれてよく遊びに行きました。昔の落語家さんは色気というか、踊りも入れたりして、一人ひとり特徴があった。だから子供が見ても飽きないし、おもしろいんだよ」



都電と末廣 昭和44年10月



人形町商店街協同組合
重盛理事長

お蕎麦屋さんで、 落語体験！ 翁庵

翁庵寄席

人形町から寄席が消えて、およそ30年。「寂しい」と思っている人も多いはずだ。しかも今また落語が若い人の間でも流行っているという。そんな時、人形町のお蕎麦屋さんで、寄席が開催されていると聞いた。そこで今回、寄席初体験に出掛けてみた。



お蕎麦屋さんか 寄席が変わる

ここ「翁庵」は、志ん朝さんも通った、由緒あるお蕎麦屋さん。寄席好きのご主人の趣味が高じて、5年前から「翁庵寄席」を開催。主に若手真打が高座に上がるといふ。今回は12回目、錦之輔改め、六代目古今亭今輔さんが出演する。

——13時半、開演は14時だというのに、次々とお客さんが店内に入ってくる。店内には所狭しとイスが並べられ、緋毛氈が掛かった高座が作られていた。端に置かれているめくりには寄席文字の「翁庵寄席」と出演者の名前が……。まさに本格的！ご主人の寄席に対する真摯な姿勢が窺えるようだ。普段は30人程でいっぱい店内が今日は40人以上はいるだ

ろうか、膝を寄せての鑑賞だ。さあ、始まり・始まり。お囃子が流れ、落語家さんの登場だ！店内はちよといくらいの広さなのだろうが、マイクは要らないようだ。お客さんは近所の人や、サラリーマン、落語好きの人、若い女性、主婦など様々。店内はすごい熱気だ。前座が終わり、熱い拍手の中、とうとう真打・今輔さんの登場だ。犯人が出てきて暗号を解くという面白い創作ミステリー落語を披露。その漸に、仕草に、表情に、思わず吸い込まれる観客。皆回りを気にもせず、大きな口を開けて笑っている！あつという間の一席だった。今回、今輔さんは二席の新作落語と、古典落語席を話してくれた。

「翁庵寄席」は、お蕎麦屋さんで行われるということ、普段は落語の後でお蕎麦を食べるというお楽しみ。お蕎麦屋さんの木戸銭は3,000円。落語のおもしろさと、名物の「ねぎせいろ」の両方が堪能できるのも、ここならでは。

今回は、残念ながらお蕎麦麦付ではなかったが「落語っておもしろい！笑うって、気持ちいい！そんな思いが残った落語初体験だった。」



席間に行われた今輔さんとご主人とのトークも楽しい！



高座終了後、古今亭今輔さんに感想を聞くと、「客席があつたかたで、ね」とひと言、さらに「ご主人が控え室に大きなモニターを置いてくれたので、客席の様子が見え、やり易いです」と話してくれた。

翁庵寄席

今後の予定

- 7月4日:19時開演
瀧川鯉橋の落語会『たがや』他一席 1,000円(そば代別)
- 8月2日:18時開演
落語で『お富と三郎』を聴く会(全6回)
『第1回・発端』隅田川馬石 他一席ゲストあり 3,000円(そば付)
- 10月18日:18時開演
落語と冗談音楽の会 川柳つくし、めおと楽団ジギジギ3,000円(そば付)

※お問い合わせ、ご予約は「翁庵」まで TEL:03-3666-7656

これからの展開について

人形町に残る玄治店跡に因んで、『お富と三郎』を落語で全6回に分けて、隅田川馬石師匠にての口演。



毎回作成される手づくりチラシ



ご主人がご鼻肩なのは、古今亭志ん朝とつ。流れる落語のBGM、「嘶の内容で、ごころあたりが笑うところ、ご分るので、その時は作業の手をちよつと止めていますよ」と、さすが落語通のご主人だ。



落語のCDは50枚以上、他にも数えきれない程のテープの数



店内に入ると、まさにBGMは落語だった。お客様は気持ち良さそうに、ご主人に髪を顔を委ねている。待合室には、三遊亭圓生から金馬、古今亭志ん生、柳家小さん、三平、田歌、田楽等、層々たる落語家たちのテープが置いてある。特に



人形町2-2-12
TEL:03-3666-4493
営業時間:8:00~19:30
定休日:日曜・祝日

人形町で落語を楽しむ

3

落語が流れる理容室

滝上理容館

東穀ホールで行われる寄席



展示ホールでは「農産物先物取引」について分かりやすく紹介している。入場は10:00~16:00



人形町で落語を楽しむ

2

先物つながりで寄席を開催

東京穀物商品取引所

重厚な外観の「東京穀物商品取引所」。この中の東穀ホールで2ヶ月に1回、寄席が開催される。東穀ホールとは、もともとは先物取引の売買を行う立会場であり、会員の場立ちが集まり、手振りによる売買を行っていた。しかし平成3年にコンピュータによる取引へ移行したことを期に、立会場の活用方法

立ちが集まり、手振りによる売買を行っていた。しかし平成3年にコンピュータによる取引へ移行したことを期に、立会場の活用方法

を検討。折りしも昭和59年に「人形町寄席」が休止となる。地域に貢献できるスペースとしての活用も考え、さらには将来有望な若手落語家を招くことが先物取引とも合い通じる、などの理由から、人形町商店街協同組合・重盛理事長と協力のもと、東穀ホールで平成4年5月に第1回「東穀寄席」を開催。その後、コンサートと寄席を1ヶ月おきに実施し、7月25日の寄席は98回を迎える。

東穀寄席

人形町で落語を楽しむ

4

中央区中洲コミュニティルーム

『浜町・一琴の会』9月以降公演予定

柳家小三治師匠のお弟子さんである一琴さんが出演

■場所:中央区中洲コミュニティルーム 1F
■お問い合わせ:松本 TEL 03-3666-4663 FAX 03-3666-4688

人形町出身で、本誌表紙を担当の漫画家 森本サンゴ氏のコミックスのご紹介

全国の書店にて好評発売中!

『東京下町っくファンタジー 嘶家の女房』

出版社/著者からの内容紹介



金なんざ無くてクヨクヨしない!“情けは人のためならず、つとらあ!” 評判が良いが今イチ売れない若手真打ち・極楽亭やんまと、恋女房・奈津ちゃんが織りなす、笑いど涙の下町グラフィティ。落語豆知識や、描き下ろし下町マンガも収録!!

発行:実業之日本社 定価560円

『化け物絵師ジュゲム ~大江戸浮世草子~』

出版社/著者からの内容紹介



化け物描かせりや日本一(?)の絵師・寿限夢(ジュゲム)が巻き起こす大江戸人情噺。「仕事もなければ金もねえ。あるのは少しの心意気。花より酒の宇田川寿限夢——」勝手気ままに生きる小粋な江戸っ子の、笑いあり涙ありの日々をショートストーリーで綴る!

発行:リイド社 定価1,000円

東穀寄席・コンサート開催予定表

- 寄席
7/25桂平治(真打)他・9/19橋家藏之助(真打)他・11/28桂平治(真打)他
 - コンサート
8/29藤本彩他・9/26朝倉組シャンソン10/31山上有紀子他・12/12紫園香他
- ※開催時間
開場17:30・開演18:00



チケットご希望の方

- 開催日2週間前の消印有効
- 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町1-12-5「東京穀物商品取引所・総務課」宛に官製はがきでご応募ください。お名前・住所・年齢・職業・希望枚数・開催日・開催内容(寄席もしくはコンサート)を必ずご記入ください。
- インターネットでもお申し込みいただけます。
<http://www.tge.or.jp/japanese/whats/events/events.shtml>

※当選発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

『土用の丑の日』とは？

うなぎを食べて夏バテ解消！



今年の「土用の丑の日」は、7月24日と8月5日。
この日にうなぎを食べる習慣は有名で、夏バテを防ぐ暮らしの知恵でもあります。では何故「土用の丑の日」なのでしょう。そもそも土用とは、丑の日とはいったい何のことでしょう。その由来を探ってみました。



テーブル席/うなぎ重「松」3,000円～
(おしんこ・きも吸い付)

小網町10-5
TEL:03-3666-3197
営業時間:11:00～14:00
17:00～20:00
定休日:日曜・祝日

134年の伝統の味を
ご賞味あれ！

うなぎ
七代川

ビルの谷間に、ひっそりと佇む日本家屋がある。1874年創業、134年の歴史を持つ老舗、うなぎ料理店の「七代川」。関東大震災後に建てられたお店は築80年。「白焼きを食べると、そのお店の味が分かるんですよ」と五代目ご主人。「七代川」は江戸前で蒸し焼きだ。紀州備長炭を使用し、ふっくらと仕上げ、口の中に入れると、とろける柔らかさだ。タレは創業時から継ぎ足している秘伝の味。少しからめであっさりしているのが特徴だ。



人形町2-7-16
TEL:03-3666-1790
営業時間:11:00～14:00(月～土)
17:00～20:00(月～金)
定休日:日曜・祝日



うなぎ重「桜」2,940円
(おしんこ付)

うなぎ
大和田本店

ユーム感が評判で、お客様と一緒にお昼の接待に訪れる人も多いという。創業70余年、現在三代目のうなぎ「大和田本店」は、江戸前で甘めのタレが自慢だ。ポリユーム満点の鰻とタレの絶妙なコンビネーションは、まさに夏の一品である。



うなぎ重「桜」2,940円
(おしんこ付)

ポリユーム感と甘めのタレは
食べ応え満点

うなぎの
大和田本店

フタを開けると、ピツクリだ！お重には1匹と2匹の鰻が乗っている。お行儀良く横に並んでいるというより、まさに乗っている！蒲焼は桜松竹梅の4種類あるが、これは「桜」。そのポリューム感が評判で、お客様と一緒にお昼の接待に訪れる人も多いという。創業70余年、現在三代目のうなぎ「大和田本店」は、江戸前で甘めのタレが自慢だ。ポリユーム満点の鰻とタレの絶妙なコンビネーションは、まさに夏の一品である。

丑の日とらなぎ

古くから丑の日に「う」の付く物(うとん・梅干など)を食べると体に良いとの言い伝えがありました。今のように夏の「土用の丑の日」にうなぎを食べるようになったのは、江戸時代と言われています。その由来は諸説あり「平賀源内が、知人のうなぎ屋のために宣伝をした」説、「大田蜀山人(おおたしよくさじん)が「土用の丑の日」に、うな

土用の丑の日はいつ？

土用とは古代中国の陰陽五行説(いんようごぎょうせつ)に基づいた期間のこと。立春、立夏、立秋、立冬の前の18日間をさします。その中の丑の日(十二支の中の丑)を「土用の丑の日」と呼びます。現在は夏の土用の丑の日が有名ですが、本来は年に4回「土用」の期間があり、その中の「丑の日」を土用の丑の日と呼びます。

うなぎの蒲焼き

関東と関西では、同じうなぎの蒲焼きでも調理法が異なります。関東では、頭を取り、背開きにし、素焼き、蒸し、再び焼く調理法で仕上げが柔らかくなるのが特徴。関西では、頭はつけたまま腹開きし、焼くので、香ばしい味わいに仕上がります。

「説によると、「商人の町」大阪では開きやすい腹を切るが、「武士の町」江戸では「腹を切る」ことを忌み嫌ったために背中から切るのだとか…。



今号ご紹介の
人形町マップ

A 翁庵	ロ イヤルパークホテル
B 滝上理容館	明治座
C 森代川	大観音寺
D 大和田	水天宮
E 匂彩	東京穀物商品取引所
F 近為	
G グリルツカサ	
H 日本橋かきがら町クリニック	
I アシスト30	
J Feel Free	
K 平成日本橋洋品店 人形町店	
L ちよだ鮎	

清洲橋通り
大門通り
人形町交差点
人形町通り
甘酒横丁
甘酒横丁交差点
新大橋通り
水天宮交差点
小舟町交差点
新堀町五差路交差点

人形町

いろはかるた

夏の巻

のしま

の

のんびりと、ゆっくりと、
やさしいお料理を頂く、幸せ

お料理旬彩

お

奥が深い味、
京漬もの

京漬もの近為

四季折々の旬のお料理が味わえる「旬彩」。落ち着いた店内で、季節が感じられる和食を頂く。特にランチの二段重は人気！鶏たたき重、鶏まぐろ重、あなご重、海鮮重など、見た目もキレイで、とってもおいしい！夜は「ちよつ」としたおまかせコース」がお得！ワインの種類も豊富なので、ゆつくりとお料理を味わいながら、時を過ごすのもいいだろう。



海鮮重 2,100円



蛸殻町2-7-8
TEL:03-3666-0831
営業時間:11:30~13:30
17:30~22:00
定休日:土曜・日曜・祝日
※土曜・日曜・祝日は人数に応じて要相談



の時期、京なす、あさうりの京野菜の他、人気の柚子こぼしなど、老舗ならではの味が並ぶ。まさに漬物で、日本の四季が感じられるお店なのである。

京つけもの処「近為」。蕪がデザインされた看板と町家造りの趣きあるこのお店が、食文化の発祥地である人形町にオープンしたのは、今から30年前。店内には、夏のこ



人形町2-5-2
TEL:03-3639-9439
営業時間:9:00~18:00
無休

く

グリルツカサ
手を抜かない姿勢が、
おいしさの秘訣

グリルツカサ

や

優しい笑顔で応対
アットホームな
クリニック

日本橋かきながら クリニック

今から49年前にオープン、二代目であるご主人が跡を継いでからは19年目となる。メニューを見ると、煮込みハンバーグ・カニクリームコロッケ・ビーフシチュー・ポークソテー・オムライス等に、洋食屋さんらしいメニューが並ぶ。特にハンバーグはお昼でオーダーストップになるほどの人気メニュー。お昼にはないカツサンドも絶品！トーストしたパンにソースカツ200gをサンド。ボリューム感もあり美味しい！



人形町2-9-10
TEL:03-3666-8997
営業時間:11:00~13:30
17:30~22:00
定休日:土曜・日曜・祝日



東横イン日本橋人形町のすぐ横にあるアットホームなクリニック。中高齢者の生活習慣病ケアを中心とした内科・循環器科・消化器科の他、地域では数少ない小児科の診療を行っている。内科と小児科の専門医が診療や各種健診、予防接種等を行っているのが特徴で、医師や看護師、受付のスタッフも優しい笑顔で迎えてくれる。ホッと安心できる温かいクリニックなのである。



蛸殻町1-10-4 2F
TEL:03-5651-1361
営業時間:平日9:00~13:00 15:00~18:00
土曜9:00~13:00
※受付時間/午前中は12:45 午後は17:45
休診日:土曜午後・日曜・祝日

ま

マンションから
ビル、土地まで、
不動産のことなら
お任せ！

アシスト30

ご主人が人形町に住んで35年。今年で18年目となる「アシスト30」は、地元の信頼と実績を大切に「をコンセプトに、ビル・マンション・土地の賃貸仲介情報から、店舗企画開発・設計・施工・リフォーム・ベネシオンまで、主に中央区をメインに不動産取引からビル管理まで幅広く取扱う。人形町の住まいのことなら、お任せだ！



人形町1-11-9 1F
TEL:03-5643-2031
営業時間:9:00~21:00
無休



カツサンド1,400円(夜ののみ)

お蕎麦屋さんで、 落語体験！ 翁庵

翁庵寄席

人形町から寄席が消えて、およそ30年。「寂しい」と思っている人も多いはずだ。しかも今また落語が若い人の間でも流行っているという。そんな時、人形町のお蕎麦屋さんで、寄席が開催されていると聞いた。そこで今回、寄席初体験に出掛けてみた。



お蕎麦屋さんか 寄席が変わる

ここ「翁庵」は、志ん朝さんも通った、由緒あるお蕎麦屋さん。寄席好きのご主人の趣味が高じて、5年前から「翁庵寄席」を開催。主に若手真打が高座に上がるといふ。今回は12回目、錦之輔改め、六代目古今亭今輔さんが出演する。

——13時半、開演は14時だというのに、次々とお客さんが店内に入ってくる。店内には所狭しとイスが並べられ、緋毛氈が掛かった高座が作られていた。端に置かれているめくりには寄席文字の「翁庵寄席」と出演者の名前が……。まさに本格的！ご主人の寄席に対する真摯な姿勢が窺えるようだ。普段は30人程でいっぱい店内が今日は40人以上はいるだ

ろうか、膝を寄せての鑑賞だ。さあ、始まり・始まり。お囃子が流れ、落語家さんの登場だ！店内はちよといくらいの広さなのだろうが、マイクは要らないようだ。お客さんは近所の人や、サラリーマン、落語好きの人、若い女性、主婦など様々。店内はすこい熱気だ。前座が終わり、熱い拍手の中、とうとう真打・今輔さんの登場だ。犯人が出てきて暗号を解くという面白い創作ミステリー落語を披露。その漸に、仕草に、表情に、思わず吸い込まれる観客。皆回りを気にもせず、大きな口を開けて笑っている！あつという間の一席だった。今回、今輔さんは二席の新作落語と、古典落語席を話してくれた。

「翁庵寄席」は、お蕎麦屋さんで行われるということ、普段は落語の後でお蕎麦を食べるというお楽しみ。お蕎麦屋さんの木戸銭は3,000円。落語のおもしろさと、名物の「ねぎせいろ」の両方が堪能できるのも、ここならでは。

今回は、残念ながらお蕎麦屋ではなかったが、落語っておもしろい！笑うって、気持ちいい！そんな思いが残った落語初体験だった。



席間に行われた今輔さんとご主人とのトークも楽しい！



高座終了後、古今亭今輔さんに感想を聞くと、「客席があつたかたで、ね」とひと言、さらに「ご主人が控え室に大きなモニターを置いてくれたので、客席の様子が見え、やり易いです」と話してくれた。

翁庵寄席

今後の予定

- 7月4日:19時開演
瀧川鯉橋の落語会『たがや』他一席 1,000円(そば代別)
- 8月2日:18時開演
落語で『お富と三郎』を聴く会(全6回)
『第1回・発端』隅田川馬石 他一席ゲストあり 3,000円(そば付)
- 10月18日:18時開演
落語と冗談音楽の会 川柳つくし、めおと楽団ジギジギ3,000円(そば付)

※お問い合わせ、ご予約は「翁庵」まで TEL:03-3666-7656

これからの展開について

人形町に残る玄治店跡に因んで、『お富と三郎』を落語で全6回に分けて、隅田川馬石師匠にての口演。



毎回作成される手づくりチラシ



味処

●日本料理・酒処

- ふぐ あき (3666) 0820
- 割烹 魚久 (3666) 3848
- 和風居酒屋 えいと (3661) 7795
- 地鶏と野菜料理 江戸路 (3668) 0018
- 寿司 江戸浜 (3669) 1781
- 串揚げ 絵凡 (3664) 6077
- 日本料理 おおいし (3668) 3019
- うなぎの大和田本店 (3666) 1790
- そば処 翁庵 (3666) 7656
- ふぐ料理 かねまん (3666) 3717
- 下町の味 松寿司 (3666) 1682
- 関西料理 人形町北浜 (3666) 3348
- ふぐ・旬料理 吉星 (3666) 9779
- 割烹 吉晁 (3666) 7046
- やきとり 久助 (3639) 5409
- うなぎ 菟代川 (3666) 3197
- 和風料理 清濱田 (3666) 6468
- 碓そば・酒処 金碓庵 (3666) 4524
- 日本料理・酒処 串長 (3661) 7087
- 居酒屋 くじらい (3661) 1325
- くらのあかり (3666) 6888
- すし処 彩旬 (3668) 1616
- お好み焼 さのや (3666) 4986
- ふぐ・一品料理 三栄 (3666) 8057
- お料理 旬彩 (3666) 0831
- 生そば 松竹庵 (3661) 3995
- 居酒屋 素材屋人形町店 (3664) 7730
- 鳥料理 玉ひで (3668) 7651
- 仙臺 牛たん 太郎 (5643) 5173
- ちよだ鮎 人形町店 (6681) 4278
- てん井 てんや人形町店 (3664) 4023
- 日本そば 東嶋屋 (3666) 6964
- 旬の味 十四郎 (3662) 0163
- SUSHI TOCHINO-KI (5643) 1144
- 鉄板焼 とみしま (3664) 4060
- 寿司 中乃見家 (3669) 2250
- 北の味紀行と地酒 北海道 (3667) 3255
- お好み焼・鉄板焼 松浪 (3666) 7773
- 牛めし 松屋人形町店 (3666) 4561

- すし 三崎丸 (5651) 1147
- スナック 弥太郎&ゆき (3661) 7214
- 浜町 藪そば (3666) 6522
- 牛・桜鍋 大和 (3666) 7330
- 魚河岸料理 よし梅 (3668) 4069
- 牛井の 吉野屋人形町店 (5645) 8139
- 鮎処 六兵衛 (3666) 7543
- レストラン・中華料理
- 中華 あつま軒 (3666) 1984
- イタリア料理 アル・ボンテ (3666) 4499
- レストラン アントレ (3669) 3080
- レストラン カサドル (3666) 8856
- 洋食 キラク (3666) 6555
- グリルツカサ (3666) 8997
- 西洋料理 ぐるとん (3668) 6732
- カレーハウス Cocco壺番屋 (5695) 7760
- 洋食 小春軒 (3661) 8830
- 四川亭 (5643) 0304
- インド&パキスタン料理 シェイク水天宮前店 (3666) 0132
- 翠蓮 (3664) 0036
- らーめん せい家 (5640) 8817
- レストラン テキサス (3664) 1234
- 中華料理 天下一 (3584) 6951
- トラットリア サンマルツァーノ (3666) 3499
- 中華そば 日高屋人形町店 (3664) 7485
- 焼肉レストラン 富士 (3666) 3205
- レストラン 芳味亭 (3666) 5687
- ハンバーガー 日本マクドナルド (5642) 7046
- 北京料理 明華園 (3666) 4501
- 洋食 来福亭 (3666) 3895
- 欧風料理 ラ・コンセルジュ (3666) 0808
- 喫茶
- 喫茶去 快生軒 (3661) 3855
- カフェ・ド・クリエ (3664) 6070
- カフェ・ドルチェ (3666) 3334
- 珈琲 千里軒 (3666) 6072
- コーヒー 高久 (3639) 3233
- ドールコーヒー 人形町一丁目店 (5645) 8650
- レストラン・喫茶 ばく (3668) 6760
- 甘味処・お好み焼 初音 (3666) 3082
- カフェレストラン ロン (3664) 0409
- カフェテラス ワコー (3666) 7631

商処

●教養・趣味・生活

- 趣味のギフト 伊勢茂 (3666) 4039
- 打刃物 うぶげや (3661) 4851
- 遠藤電気商会 (3669) 6936
- 印章・ゴム印 大橋印房 (3666) 1935
- くま薬局 (5651) 2161
- ガラス工芸 Glassワタベ (3808) 0050
- 携帯プラザ 人形町店 (3660) 6619
- コポリ文具店 (3666) 7633
- 佐野時計店 (3669) 2995
- 楊枝 さるや (3666) 3906
- 株式会社 三喜 (3666) 1762
- 志村商店 (3666) 3957
- BOOKS PISMO (5623) 7203
- 香老舗 松榮堂 (3664) 2307
- 清心丹薬局 (3666) 4828
- 金券ショップ 大黒屋 (3663) 0733
- 大成堂薬局 (3666) 5718
- 文具のチシマ (3662) 1561
- 宝飾・時計 つのだ (3249) 7755
- 婦人服修理 つるや洋装 (3669) 6647
- 東京家具 (3667) 6761
- 日用品ビデオ企画 戸田屋商店 (3666) 5940
- 家庭金物・化粧品 なんや商店 (3669) 5277
- 日本橋かきが町クリニック (5651) 1361
- 人形町指圧リバーズ (3668) 4936
- 人形町ロックサービス (3661) 3956
- レンタルスペース 白天堂 (3666) 5297
- 花繁 (3666) 8716
- DPE パレットプラザ (5643) 2213
- ガス器具販売修理 日比野商店 (3666) 5890
- ヒラマツ靴店 (3666) 8979
- ファミリーマート マルイチ (3666) 6850
- マッサージ 藤倉治療院 (3666) 3619
- 福住薬局 (3666) 3939
- 靴・スポーツ用品 プラザ (3666) 9828
- 文教堂書店 (5652) 1769
- 毎日新聞日本橋販売所 (3666) 7320
- マツモトキョシ (3639) 2556
- 白衣・ユニフォーム 丸富士 (3668) 5941

- 生・造花典 ミソノ (3661) 0010
- 靴 みどりや靴店 (3666) 3404
- 文具事務器 ミヤギ (3662) 6813
- モリヤフォトスタジオ (3666) 5658
- ドラッグ・オゾン
- 食品
- 食品の店 いたくらや (3666) 5835
- すき焼・割烹 人形町今半 (3666) 7006
- 京粕漬 魚久 (3666) 0048
- お茶の 共和園 (3666) 2050
- 和洋酒・食料品 小山酒店 (3669) 3881
- おにぎり コロナ人形町店 (3664) 2253
- 銘茶 佐七 (3667) 5659
- 福神漬・漬物・鯖の薫製 酒悦 (5642) 0129
- 酒・洋酒・食品 新川屋佐々木酒店 (3666) 7662
- ドイツパンの店 タンネ (3667) 0426
- 京漬もの 近為 (3639) 9439
- 佃煮 ちとせ屋 (3666) 3816
- 鳥近 (3666) 3600
- 長谷川海苔店 (3666) 7381
- 浜町漬 濱乃院 (3639) 0231
- 富貴豆 ハマヤ (3668) 1886
- すき焼と肉の専門店 日山 (3666) 5257
- 須賀屋果実店 (3666) 9724
- サンドウィッチバーラー まつむら (3666) 3424
- 惣菜おでん 美奈福 (3666) 3729
- 茶卸・甘味処 森乃園 (3667) 2666
- うまいもの揃い食品店 わしや (3666) 5778
- 親子焼・王子焼・焼鳥・地鶏の鳥忠 (3666) 0025
- 和洋菓子・煎餅
- 人形焼本舗 板倉屋 (3667) 4818
- 人形焼・瓦せんべい 人形町亀井堂 (3666) 6654
- 京菓子 玉英堂 (3666) 2625
- 京菓子司 寿堂 (0120) 480400
- おせん・おかき処 小藤屋 (3669) 7733
- ゼイタク煎餅 重盛の人形焼 (3666) 5885
- 手焼せんべい 草加屋 (3666) 7378
- 名菓 千鳥屋 (5645) 2155
- 江戸菓子匠・茶寮 つくし (3667) 5344
- 花見せんべい (3666) 3990
- 京菓子司 人形町 彦九郎 (3660) 5533
- 和生菓子 縫月堂 (3666) 6739

- 和菓子舗 三原堂本店 (3666) 3333
- 高級網焼本舗 柳屋 (3666) 1822
- 不動産・金融・他
- アシスト30 (5643) 2031
- 菊弥不動産 (3669) 2526
- 興産信用金庫人形町支店 (3668) 5951
- 日産センチュリー一証券 (4333) 1000
- 日本通運 東京支店 (5652) 6930
- 不動産 宝や (3668) 0941
- 不動産管理 旅路 (3669) 8006
- 東京シティ・エアターミナル (3665) 7130
- 東京シティ信用金庫 日本橋支店 (3663) 8661
- 東京穀物商品取引所 (3668) 9009
- 不動産 パルムシティ (3668) 0888
- 明治安田ビル (3669) 8480
- 柳屋不動産 (3272) 1441
- 富士バーゲン会場
- 美処
- 婦人服 エフ・ビー・エス (3667) 5194
- 京扇子 京扇堂 (3669) 0046
- 紳士婦人服 キリンヤ洋品店 (3666) 5741
- リサイクル着物 人形町 ぐべに屋 (3666) 0649
- 下町おもしろ工芸館 (3664) 3780
- マタニティ専門 ジョリー (3666) 7219
- きもの今昔 甚右衛門 (3662) 3651
- カットハウス スペース (3666) 9540
- 滝上理容館 (3666) 4493
- 特選呉服 立花屋 (3666) 3644
- リサイクル着物 たんす屋人形町店 (3249) 0529
- 紳士洋品 チホリ・オオノヤ (3661) 4009
- 東京メガネ 日本橋店 (3661) 2906
- ネクタイの中島 (3666) 1789
- 新感覚の染めと織り 錦や (3666) 5361
- 平成日本橋洋品店 人形町店 080 (6514) 0303
- 理容室 Feel Free (3666) 6789
- きもの 松ざわ (3666) 0630
- マタニティのマプラス水天宮店 (5645) 1607
- マリオンボート (3639) 3557
- マタニティ専門 美樹村 (3668) 0045
- みつこ美容室 (3666) 1188

- メガネバスター 人形町店 (3664) 8975
- カット&カラー Comfort (人形町店)

粹処

- 美術陶芸 京雅堂 (3666) 5666
- 手ぬぐいのちどり屋 (5284) 8230
- つづら岩井商店 (3668) 6058
- 和楽器 ばち英 (3666) 7263
- こだわりのうつわ 紅とも (3667) 6030

愉処

- ホテル 吉晁 (3666) 6161
- グロリアツーリスト (5641) 1220
- 住庄ほてる (3661) 4203
- シティベンション ゼム (3661) 0681
- 東横イン日本橋人形町店 (3664) 1045
- ホテル 日本橋サイボー (3668) 2323
- パチンコ 正村遊技場 (3666) 6000
- ミゼ浜口園三・ヤマサコレクション (3665) 0251
- 明治座 (3660) 3900
- 人形屋りゅう (5649) 2133
- ロイヤルパークホテル (3667) 1111

願処

- 大観音寺 (3667) 7989
- 水天宮 (3666) 7195

公処

- 東京メトロ 水天宮前駅 (3249) 6226
- 東京メトロ 人形町駅 (3661) 1924
- 都営地下鉄 人形町駅 (3662) 5095
- 都営地下鉄 浜町駅 (3667) 8351

人形町「寄席末廣」

文・有田芳男

明治から大正・昭和の下町には、一町内に一定席があったと言われており、毎日昼席から夜席と客を集めておりました。二月を上席・中席・下席と三つに分けてまして、十日で出演者が入れ替わって席を勤めていました。

人形町周辺には、明治から10軒もの寄席がありました。私としては人形町・末廣と喜扇亭には入って棧敷に座りましたが、もう、軒・鈴本亭が人形町通りの西側の路地に震災まであったそうです。喜扇亭は特別でして、明治30年の開業で、落語・講談と色物から、後には浪花節だけの席にもなりました。ときには喜劇や女剣劇も掛かってもおりました。当時の下町の庶民は一日を忙しく働き、そのあと時間を楽しく過ごしていたものでした。

そのなかにありました人形町に最後まで残っていた棧敷の寄席・末廣では、落語だけではなく、講談・漫才から三味線の弾き語り・奇術に手品、そして百面相などと、あらゆる出し物で客を喜ばす、色物のせきでした。開業したのが慶応三年(1867)でして、昭和45年1月20日をもって103年もの間、東京の下町の娯楽と文化を守っていたのですが、昭和40年

代頃の世の中の変化には対処しきれずに、終席になつてしまいました。

私たち土地っ子の子どもたちは、寄席・末廣には何らかの係わり合いがあつて、楽屋から入つて寄席の中のことを、楽屋から見ることができました。若手の前座たちの楽屋での働きは大変でして、二丁目・真打、そして「大看板」の先輩が楽屋入りすれば、舞台へ上がるまでの面倒は前座の大切な仕事です。楽屋内での立ち振る舞いは緊張の連続です。そして、ここでの仕事をマスターすることが、前座の地位を全うする第一条件ですので、一生懸命に務めていました。

お話しが続きとして、面白い楽屋話の一席をうかがいます。故九代目桂文治師匠は小傳馬町の生まれでして、となり街の人形町に縁のある人でした。

『まめな人』で買物は寄席・末廣に上がったあと、人形町を歩きます。

焼鳥屋さんで卵焼きを買い、八百屋さんに寄つては亀戸大根を買いいます。

からい、大根おろしを付けてお酒の肴にするという師匠でした。



故九代目桂文治師匠

街と文研交流
ありわづら

人形町商店街協同組合は応援しています。
人とセラピードッグの心のふれあい。



水天宮
成の日

6/15(日)・27(金) 7/9(水)・21(月) 8/2(土)・14(木)・26(火)

※毎月5日は
縁日です。

ホームページ「人形町」 <http://www.ningyocho.or.jp/>